

【事業名】 縄県内に生育するキバナシュスラン、コウシュンシュスラン、ナンバンカモメラン
の生息域外保全
(沖縄県国頭村、石垣市、竹富町) 【団体名】 一般財団法人沖縄美ら島財団

事業の背景・目的

・国内希少野生動植物種であるキバナシュスラン、コウシュンシュスラン、ナンバンカモメランは、沖縄県でも生育数が少なく、その保全が急がれる種群である。これら3種は、開花後のシュートや古い地下茎が枯れる性質などが共通しており、これらを生息域外保全株のファウンダーとして使用することで自生地個体群への影響を最小限に抑えつつ、多様な系統を保持した生息域外保全を目的に本事業を実施した。



キバナシュスラン (左:全体、右:花拡大)

事業の内容

・上記3種の生育状況調査を実施し、生息域外保全株の確保に努める。またモニタリング調査を実施し、採取した株が枯死していないか確認を行った。すでに培養苗がある種類については、培養温度の検討を進めるための下準備を行った。

事業① 生育状況調査等事業

- ・生育地での調査
(個体数、開花、結実、被害など)
- ・開花シュート採取後の動態の確認
- ・自生地の探索



コウシュンシュスラン自生地



ナンバンカモメラン自生地

事業② 生息域外保全株確保事業

- ・シュート等を用いた増殖手法の確立
- ・種子を用いた無菌培養(種子が得られた場合)

事業③ 培養温度検討事業

- ・培養苗の培養条件検討

得られた成果

・キバナシュスランは、西表島、石垣島各1地点で確認し、それぞれ3個体、2個体分の開花後のシュートもしくは地下茎を確保した。コウシュンシュスランについては、沖縄島の1地点で確認し、リュウキュウイノシシによって掘り起こされていると思われる根が切れた状態の株を3株確保した。ナンバンカモメランについては、西表島の2地点で確認し、そのうち1地点より2株分の開花後のシュートもしくは地下茎を確保した。

・採取したシュートもしくは地下茎については、ほぼ100%活着し、増殖に成功しており、今後の栽培条件を整え、開花まで調整を行う。

